



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日

上場会社名 日本ナレッジ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5252 URL https://www.know-net.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 青木 一男 TEL 03-3845-4781  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	3,550	9.9	203	53.5	191	39.2	137	45.6
2022年3月期	3,231	14.4	132	144.0	137	116.1	94	190.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	115.27	—	19.4	12.3	5.7
2022年3月期	82.69	—	20.3	10.7	4.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,803	898	49.8	653.14
2022年3月期	1,311	516	39.4	435.45

(参考) 自己資本 2023年3月期 898百万円 2022年3月期 516百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	286	△29	159	858
2022年3月期	△32	△89	10	442

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	17	18.1	3.8
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	20	15.0	2.8
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		16.2	

## 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,927	14.1	77	△14.9	78	△17.6	52	△16.2	37.79
通期	4,000	12.7	240	18.0	240	25.4	150	9.3	109.01

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	1,376,000株	2022年3月期	1,186,000株
2023年3月期	-株	2022年3月期	-株
2023年3月期	1,190,684株	2022年3月期	1,140,167株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通しに関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2022年4月1日～2023年3月31日まで、以下当期)におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、政府による各種政策の効果もあり、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢や外国為替相場の変動等の影響によるエネルギー価格及び原材料価格の上昇、欧米各国の金融引き締めによる世界的な景気後退懸念等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するIT関連業界においては、引き続き企業のIT投資が拡大傾向にあるとともに、IoTやAI、RPAなど、最先端のIT技術を活用した新たな市場も立ち上がりつつあり、また、リモートワークの定着やクラウドサービスの拡大を背景に情報セキュリティの重要度が高まっております。

こうした事業環境の中、当社においては、他社と差別化する為の独自性のあるサービス提供へ向けた積極的な取り組みや新たな市場の開拓等に注力し、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当期の売上高は3,550,234千円(前期比9.9%の増加)となり、創立以来の最高額となりました。また利益率の高い当社製品(業種テンプレート)の売上増加と、生産性の向上により、営業利益203,372千円(前期比53.6%の増加)、経常利益191,358千円(前期比39.2%の増加)、当期純利益は137,245千円(前期比45.6%の増加)といずれも大幅増益となりました。

各セグメントの経営成績につきましては、次のとおりです。

#### ①検証事業

当社の検証事業では、ソフトウェア開発の各工程において、テストの計画立案からテスト設計・実行、そしてプロセス改善提案に至るまで、顧客企業のソフトウェア品質向上のためのサービスを提供しております。

当期においては、同業他社と差別化を図るために昨年より継続してテストの自動化を推進してまいりました。複数の顧客の自動化を受託し、実績をあげることができました。その結果、セグメント売上高は2,022,682千円(前期比2.5%の増加)、セグメント利益は365,422千円(前期比43.1%の増加)と増収増益の結果となりました。

#### ②開発事業

当社の開発事業では、自社開発パッケージ製品の販売及びカスタマイズ、受託システム開発、セキュリティ関連製品の販売が主な事業内容となっております。

当社の開発事業においては、従前より株式会社大塚商会のERP「SMILEシリーズ」の開発及びカスタマイズを中心に行っております。特に鋼材業・木材業向けといたしまして、「SMILEシリーズ」で機能する業種テンプレートを自社開発し、これらの販売・サポートについても、パートナー企業との連携強化に注力し展開してまいりました。

また、諏訪センターにおいては、その他複数の大手ベンダー製パッケージソフトウェアの受託開発を手掛けることで、幅広い製品をラインナップすることにより受注の安定につなげております。

さらに自社セキュリティ製品の「monoPackシリーズ」は、新型コロナ感染拡大が長期化する中、政府によるテレワークの推奨に伴い、受注が増加致しました。これらの結果として、セグメント売上高は1,527,551千円(前期比21.5%の増加)、セグメント利益は323,624千円(前期比81.1%の増加)と増収増益の結果となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

第38期事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

#### (資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べ492,121千円増加し、1,803,672千円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ464,738千円増加し、1,486,937千円となりました。主な要因は現金及び預金の増加414,218千円によるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ27,383千円増加し、316,735千円となりました。主な要因は、繰延税金資産の増加10,383千円、投資有価証券の増加4,734千円によるものであります。

#### (負債)

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末に比べ160,201千円増加し、749,662千円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加48,681千円、買掛金の増加40,685千円、賞与引当金の増加28,027千円、未払消費税等の増加21,804千円によるものです。固定負債は前事業年度末に比べ50,354千円減少し、155,286千円となりました。主な要因は、社債の減少が20,000千円、長期借入金の減少23,834千円、リース債務の減少5,674千円によるものです。

#### (純資産)

当期の純資産は、前期末に比べ382,274千円増加し、898,722千円となりました。主な要因は、公募増資による資本金の増加131,100千円、同じく資本準備金の増加131,100千円、繰越利益剰余金の増加117,676千円によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下資金という）は、前事業年度末に比べ416,218千円増加し、858,371千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況と各増減要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は286,384千円となりました。これは主に、税引前当期純利益191,358千円を計上しましたことと、賞与引当金の増加による増加28,027千円、買掛金の増加による増加40,685千円、売上債権の増加による減少42,895千円等があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は29,827千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19,955千円、差入保証金の差入による支出5,700千円等があったことによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は159,661千円となりました。これは主に、株式の発行による収入240,288千円、社債の償還による支出32,000千円、長期借入金の返済による支出25,008千円等によるものです。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限等の3年間は、社会課題や環境問題への取組みが企業の持続的な成長への大きな要因となることを警鐘し、また、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化及び米中関係の悪化等に起因する世界の分断リスク、それに伴うエネルギー及び原材料の高騰等々、様々な要因が複雑に影響し合い、先行きの見通しが非常に予測しづらい状況にあります。そのような状況の中におきましても、当社の属するソフトウェアテスト市場は比較的堅調に推移するものと予測しておりますが、引続き売上高の拡大等に努めてまいります。

また、社会課題や環境問題への取組を実行していくには、人材への投資が重要な要素であるとともに、企業価値向上に必要な要素として、人材投資を積極的に行ってまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	508,152	922,371
売掛金	476,644	519,539
仕掛品	18,122	21,288
前渡金	6,258	8,379
前払費用	12,198	12,060
その他	1,000	3,325
貸倒引当金	△177	△27
流動資産合計	1,022,199	1,486,937
固定資産		
有形固定資産		
建物	58,114	58,438
減価償却累計額	△21,378	△24,944
建物(純額)	36,735	33,494
車両運搬具	—	1,204
減価償却累計額	—	△134
車両運搬具(純額)	—	1,069
工具、器具及び備品	41,235	54,369
減価償却累計額	△31,086	△40,325
工具、器具及び備品(純額)	10,148	14,044
土地	66,287	75,034
リース資産	37,934	31,655
減価償却累計額	△19,808	△18,861
リース資産(純額)	18,126	12,794
有形固定資産合計	131,299	136,437
無形固定資産		
借地権	8,190	8,190
ソフトウェア	1,736	868
その他	209	199
無形固定資産合計	10,136	9,257
投資その他の資産		
投資有価証券	8,418	13,152
出資金	16,450	16,450
長期前払費用	233	113
繰延税金資産	37,255	47,638
その他	85,684	93,810
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	147,916	171,040
固定資産合計	289,351	316,735
資産合計	1,311,550	1,803,672

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	195,849	236,535
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	25,008	23,834
1年内償還予定の社債	32,000	20,000
リース債務	5,828	5,674
未払金	8,018	26,785
未払費用	50,395	67,625
未払消費税等	36,892	58,696
未払法人税等	18,028	66,710
契約負債	78,296	72,591
賞与引当金	80,190	108,217
その他	8,953	12,992
流動負債合計	589,461	749,662
固定負債		
社債	50,000	30,000
長期借入金	120,380	96,546
リース債務	14,826	9,152
資産除去債務	17,886	17,982
その他	2,548	1,606
固定負債合計	205,641	155,286
負債合計	795,103	904,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,000	217,100
資本剰余金		
資本準備金	15,000	146,100
その他資本剰余金	12,240	12,240
資本剰余金合計	27,240	158,340
利益剰余金		
利益準備金	3,408	5,187
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	400,658	518,334
利益剰余金合計	404,066	523,521
株主資本合計	517,306	898,961
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△858	△239
評価・換算差額等合計	△858	△239
純資産合計	516,447	898,722
負債純資産合計	1,311,550	1,803,672



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,231,681	3,550,234
売上原価	2,704,314	2,861,187
売上総利益	527,366	689,046
販売費及び一般管理費	394,919	485,673
営業利益	132,447	203,372
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	399	493
助成金収入	2,691	6,089
受取手数料	1,800	1,800
受取家賃収入	1,389	1,861
雑収入	622	2,424
営業外収益合計	6,911	12,677
営業外費用		
支払利息	847	1,009
社債利息	169	111
支払保証料	764	609
株式交付費	—	22,186
その他	63	775
営業外費用合計	1,844	24,692
経常利益	137,513	191,358
特別損失		
固定資産除却損	1,935	—
特別損失合計	1,935	—
税引前当期純利益	135,578	191,358
法人税、住民税及び事業税	44,910	64,844
法人税等調整額	△3,606	△10,731
法人税等合計	41,303	54,113
当期純利益	94,275	137,245

## 売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	1,360,968	50.2	1,445,765	50.4
II 外注費		1,223,616	45.1	1,293,364	45.1
III 経費		125,955	4.7	129,557	4.5
当期総製造費用		2,710,540	100.0	2,868,688	100.0
他勘定振替		—		△4,334	
期首仕掛品棚卸高		11,896		18,122	
合計		2,722,437		2,882,475	
期末仕掛品棚卸高		18,122		21,288	
当期製造原価		2,704,314		2,861,187	
売上原価		2,704,314		2,861,187	

## 原価計算の方法

個別原価計算による実際原価計算であります。

(注) ※1 主な内訳は次のとおりであります。

(千円)

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
受注損失引当金繰入額	△54,177	—
地代家賃	35,131	55,474
旅費及び交通費	9,848	13,239
通信費	11,714	11,156
減価償却費	10,806	12,775
消耗品費	8,665	11,734

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
当期首残高	71,000	—	12,240	12,240	1,704	325,127	326,831	410,071
当期変動額								
新株の発行	15,000	15,000		15,000				30,000
剰余金の配当					1,704	△18,744	△17,040	△17,040
当期純利益						94,275	94,275	94,275
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	15,000	15,000	—	15,000	1,704	75,531	77,235	107,235
当期末残高	86,000	15,000	12,240	27,240	3,408	400,658	404,066	517,306

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	270	270	410,342
当期変動額			
新株の発行			30,000
剰余金の配当			△17,040
当期純利益			94,275
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,129	△1,129	△1,129
当期変動額合計	△1,129	△1,129	106,105
当期末残高	△858	△858	516,447

当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	86,000	15,000	12,240	27,240	3,408	400,658	404,066	517,306
当期変動額								
新株の発行	131,100	131,100		131,100				262,200
剰余金の配当					1,779	△19,569	△17,790	△17,790
当期純利益						137,245	137,245	137,245
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	131,100	131,100		131,100	1,779	117,676	119,455	381,655
当期末残高	217,100	146,100	12,240	158,340	5,187	518,334	523,521	898,961

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△858	△858	516,447
当期変動額			
新株の発行			262,200
剰余金の配当			△17,790
当期純利益			137,245
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	619	619	619
当期変動額合計	619	619	382,274
当期末残高	△239	△239	898,722

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	135,578	191,358
減価償却費	17,929	20,292
固定資産除却損	1,846	—
のれん償却額	977	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△85	△149
受取利息及び受取配当金	△407	△502
支払利息	847	1,009
社債利息	169	111
賞与引当金の増減額 (△は減少)	61,682	28,027
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△54,177	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△82,973	△42,895
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,225	△3,166
買掛金の増減額 (△は減少)	1,568	40,685
その他	△38,334	68,395
小計	38,396	303,166
利息及び配当金の受取額	407	502
利息の支払額	△1,046	△1,120
法人税等の支払額	△70,585	△16,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,828	286,384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は減少)	△6,700	2,000
有形固定資産の取得による支出	△66,696	△19,955
無形固定資産の取得による支出	△210	—
投資有価証券の取得による支出	△3,708	△3,765
差入保証金の差入による支出	△8,049	△5,700
差入保証金の回収による収入	—	182
保険積立金の積立による支出	△4,333	△4,647
保険積立金の解約による収入	—	2,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,698	△29,827
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	—
長期借入金の返済による支出	△15,000	△25,008
長期借入れによる収入	50,000	—
社債の発行による収入	—	—
社債の償還による支出	△32,000	△32,000
株式の発行による収入	30,000	240,288
リース債務の返済による支出	△5,262	△5,828
配当金の支払額	△17,040	△17,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,697	159,661
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,830	416,218
現金及び現金同等物の期首残高	553,982	442,152
現金及び現金同等物の期末残高	442,152	858,371

（5）財務諸表に関する注記事項  
（継続企業の前提に関する注記）  
該当事項はありません。

（会計方針の変更）  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、検証事業の拠点を札幌、開発事業の拠点をつくば、成田、郡山、諏訪に展開しております。また、本社にセキュリティ製品と動作分析システムを取り扱うセクションを置きビジネスを展開しております。

当社は事業の種類・性質の類似性等を勘案して、「検証事業」、「開発事業」の2つの事業に区分しており、これを報告セグメントとしております。各事業は取り扱う製品及びサービスごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「検証事業」は、ソフトウェアの不具合により顕在化するリスクを回避・軽減するため、ソフトウェアの開発工程（要件定義・設計・開発・テスト）のなかのテスト工程において、品質計画の立案、テストの分析設計、テストの実行といった一連のプロセスやコンサルティングをサービスとして提供しております。

「開発事業」では、大手ベンダー製のパッケージソフトウェア導入に伴うカスタマイズの受託開発や、セキュリティ製品の開発・販売、パッケージソフトウェアの開発・販売・保守を中心に行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,974,095	1,257,586	3,231,681	—	3,231,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,978	△14,978	—	—	—
計	1,989,074	1,242,607	3,231,681	—	3,231,681
セグメント利益	255,433	178,725	434,158	△301,711	132,447
その他の項目					
減価償却費	3,183	7,882	11,065	6,997	18,063
のれん償却額	977	—	977	—	977

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△301,711千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用301,711千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載をしていません。

当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表計上額 (注2)
	検証事業	開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,022,682	1,527,551	3,550,234	—	3,550,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88,105	△88,105	—	—	—
計	2,110,787	1,439,446	3,550,234	—	3,550,234
セグメント利益	365,422	323,624	689,046	△485,673	203,372
その他の項目					
減価償却費	4,353	8,421	12,775	7,613	20,388
のれん償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△485,673千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用485,673千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載をしていません。



## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	435.45円	653.14円
1株当たり当期純利益	82.69円	115.27円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2022年11月25日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 2023年1月16日付で10株につき1株の株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益 (千円)	94,275	137,245
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	94,275	137,245
普通株式の期中平均株式数 (株)	1,140,167	1,190,684

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	516,447	898,722
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	516,447	898,722
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の株式の数 (株)	1,186,000	1,376,000

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。